

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	15-029	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
The Role of Alcohol Consumption in Regulating Circulating Levels of Adiponectin: A Prospective Cohort Study. 飲酒が血中アディポネクチン量を規定するか? : 前向きコホート研究		
執筆者		
Bell S, Britton A.		
掲載誌		
J Clin Endocrinol Metab. 2015 Jul;100(7):2763-8. doi: 10.1210/jc.2015-1845.		
キーワード		PMID
アディポネクチン、2型糖尿病、観察研究		26000546
要旨		
<p>目的: 飲酒と血中アディポネクチン変化量との経時的な関連を明らかにすること。</p> <p>方法: 観察研究。ベースライン時 50 歳以上の 2,855 名 (男性 74%) が対象。経時データは 1991 ~93 年、1997~99 年、2002~04 年の 3 時点より取得。主要評価項目は血清アディポネクチン濃度およびその変化量 (対数変換)。飲酒量は 8g を 1 単位 (英国の単位) として過去 7 日間の摂取量を聴取。調整項目として性、年齢、人種、および喫煙習慣の有無を使用。</p> <p>結果: 各時点において、飲酒量と血清アディポネクチン濃度対数値との間に有意な関連がみられた (係数 $\beta=0.001\sim0.004$)。一方で、飲酒量とアディポネクチン変化量との有意な関連はみとめられなかった。</p> <p>結論: 本研究では飲酒量と循環アディポネクチンレベルとの経時的な関連は明らかにならなかった。血中アディポネクチンレベルは、飲酒と 2 型糖尿病の中間介在因子として働いていない可能性が示唆された。</p>		